

<助成金情報>

<p>福祉 2022年度ヤマト福祉財団助成金 障がい者給料増額支援助成金</p> <p>障がい者の給料増額に努力し取り組む事業所・施設に対し、さらに多くの給料を支払うための事業の資金として助成します。</p> <p>〔助成金額〕 50～500万円(30件程度) 〔申込締切〕 11月30日</p> <p>【対象団体】 N P O 法人</p> <p>〔発信元 (公財)ヤマト福祉財団 〔U R L〕 https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy.html</p>	<p>子ども 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成</p> <p>子どもの体験活動・読書活動への助成を行っています。</p> <p>①子どもの体験活動 ・キャンプや自然観察などの自然体験活動 ・科学実験教室などの科学体験活動 ・文化、芸術、スポーツ等を通じた交流を目的とした活動 ・清掃活動などの社会奉仕体験活動 ・地域の商店街、農業・漁業などの職場体験活動 など</p> <p>②子どもの読書活動: 読み聞かせ会、読書活動など ③子ども向け教材開発・普及活動 ・インターネット等で利用可能なデジタル教材を開発し、普及する活動</p> <p>〔助成金額〕 全国規模の活動: 600万円 都道府県規模の活動: 200万円 市区町村規模の活動: 100万円</p> <p>〔申込締切〕 11月30日</p> <p>【対象団体】 NPO法人 市民活動団体</p> <p>〔発信元〕 独立行政法人青少年教育振興機構 〔U R L〕 https://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/</p>
<p>福祉 2022年度ヤマト福祉財団助成金 障がい者福祉助成金</p> <p>障がいのある方の幸せにつながる事業・活動に対して助成します。</p> <p>①会議・講演会 ②ボランティア活動 ③スポーツ活動・文化活動 ④調査・研究・出版</p> <p>〔助成金額〕 1件あたり最大100万円 〔申込締切〕 11月30日</p> <p>【対象団体】 NPO法人 市民活動団体</p> <p>〔発信元 (公財)ヤマト福祉財団 〔U R L〕 https://www.yamato-fukushi.jp/works/subsidy.html</p>	<p>2022年度 日本郵便年賀寄付金配分団体の公募</p> <p>日本郵便年賀寄付金配分団体を公募します。</p> <p>・活動・一般プログラム、活動・チャレンジプログラム ・施設改修 ・機器購入、車両購入 ・東日本大震災、令和元年台風19号および令和2年7月豪雨の被災者救助・予防(復興) ・新型コロナウイルス感染症の予防、拡大防止</p> <p>〔助成金額〕 500万円 〔申込締切〕 11月5日</p> <p>【対象団体】 NPO 法人</p> <p>〔発信元 日本郵便株式会社 〔U R L〕 https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2021/00_honsha/0831_01.html</p>
<p>まちづくり 令和4年度 中国地方地域づくり等助成事業</p> <p>国土交通省が実施する施策や整備事業等に関連し、社会資本整備に繋がる地域づくり、環境保全、防災等の事業を助成します。</p> <p>〔助成金額〕 上限100万円 〔申込締切〕 12月20日</p> <p>【対象団体】 市民活動団体</p> <p>〔発信元 (一社)中国建設弘済会島根支部 〔U R L〕 http://www.ccba.or.jp/exam/past/index.htm</p>	

※各種助成金の詳細については、
発信元のホームページをご覧ください。

発行元：益田市市民活動支援センター

TEL:0856-31-0600 FAX:0856-23-7708

益田市常盤町1番1号 益田市役所連携のまちづくり推進課内

Eメール: npo@city.masuda.lg.jp



ますだすまいる 通信

NPO法人 アンダンテ21

第12回 ハマグリ貝アート展作品募集

益田のハマグリにアートしちゃいましょう。

【作品提出締切】 2021年11月19日(金)まで

【作品応募の流れ】 作品応募は簡単！お気軽にご参加ください♪

みなさまの応募をお待ちしております！



①受付

「アンダンテ21事務局」または「吉田公民館(市民学習センター)」にて、お申込みください。

出品料は一点300円

ピカピカに磨いた7cm以上の益田産ハマグリ1個と応募用紙をお渡しします。

②制作

テーマは自由。一對のハマグリが閉じられる状態で提出してください。

③作品提出

完成作品は「アンダンテ21事務局」または「吉田公民館(市民学習センター)」で受け付けています。

応募作品は、令和3年12月8日(水)～12月12日(日)まで
グラントワの多目的ギャラリーで展示します。

また、専用HPにて「WEB展示会」も同時開催します。

※新型コロナウイルスの感染状況により、WEB展示のみの可能性もあります。

【お問合せ】 NPO法人アンダンテ21 住所：益田市水分町18-10 (グラントワ裏)
(TEL) 0856-24-8661 (mail) andante2100@gmail.com (HP) <http://www.hamaguri-art.com>

活動紹介

木炭を活用した災害対策～市民活動養成塾

9月10日(金)に市民活動養成塾主催で災害への対策を学ぶ講演会が開催され、20名の参加がありました。山本粉炭工業の山本明男社長を講師に迎え、日頃から食料品を備蓄することの大切さや災害時の木炭の有効性についてお話を聞きました。

山本社長は木炭について、燃料として活用するだけでなく、浄水や脱臭効果もあり腐らないため、食料やコンロと一緒に常備しておくことで、災害時に役立つと説明。その他、木炭の材料として間伐材を利用することで土砂崩れ等の災害が発生することを防止することにもつながるなど、様々なお話を聞くことができました。



防災マップを作ろう！～NPO法人石西防災研究所

9月25日(土)に石西防災研究所が開催した小学生向け防災講座「防災マップを作ろう！」に参加しました。今回は、高津上市地区を対象として2班に分かれ、「地震」に対する防災マップを作成しました。子ども達と一緒に地震が起きた際に「危険なところ」「安全なところ」「役立つところ」の3点を探してまち歩きをしましたが、予定していた時間では足りないほど一生懸命に取り組んでいた子ども達の姿が印象的でした。

石西防災研究所では、団体のFacebookで活動の様子等も発信しています。興味のある方は、ぜひ一度ご覧になってみてください。

↓ 団体 Facebook ↓

<https://www.facebook.com/sekiseibousai>

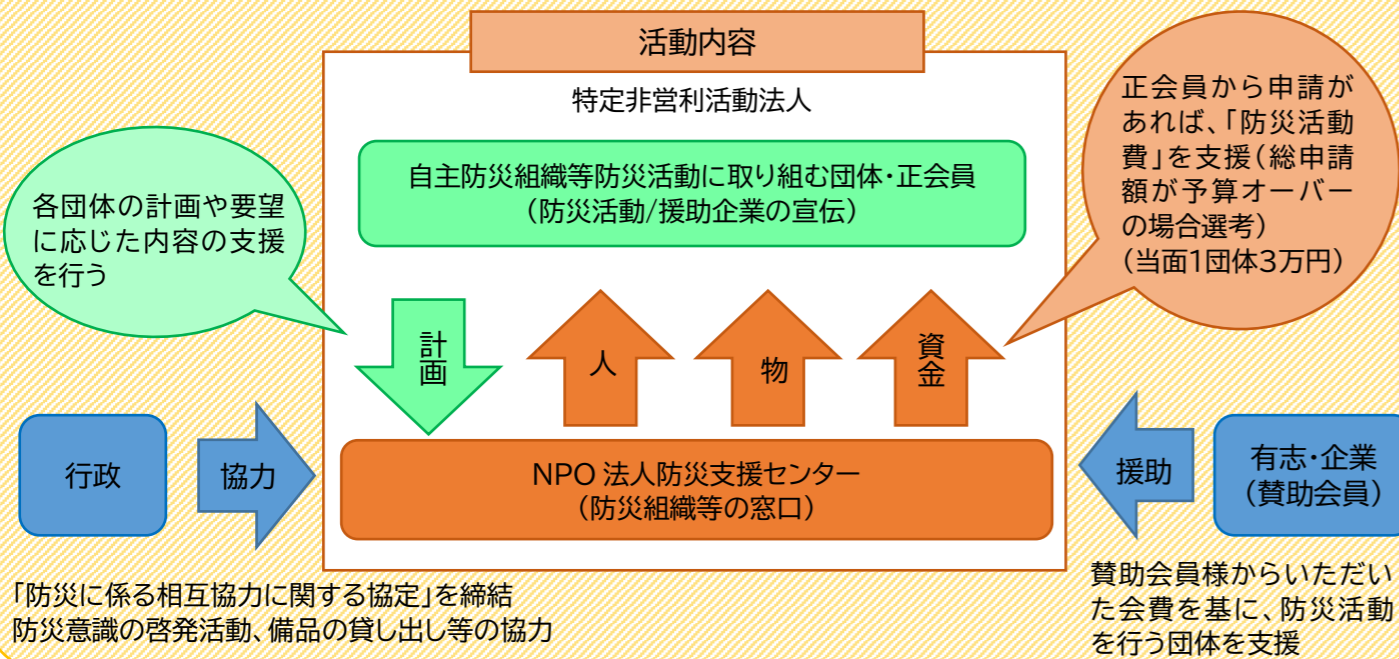


ブロック塀の写真を撮る子ども達の様子。古いブロック塀は、地震が起きた際に崩れる危険があります。気になる場所があれば、一度立ち止まり皆で相談します。

災害と向き合う皆さんをサポートします！

近年では、地震や台風、大雨など全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害をもたらしています。益田市においても、大雨による被害が発生しています。災害から自分たちの命と生活を守るためには、日々の備えが重要です。

そこで防災支援センターでは、自主防災組織など防災活動に取り組む団体が有効的な防災活動を追求・実践できるよう、防災活動に取り組む団体に対して、人・物・資金の支援やそれぞれの計画に応じた防災講演会・勉強会の実施、防災訓練などの支援を行っています。活動をとおして、防災活動の活性化と話題性を高めるとともに、地域住民の皆さんに防災活動の意義と魅力を感じてもらえるよう取り組んでいます。



～ 災害から命、暮らしを守るための訓練 ～

災害は、いつ、どこで、どのように起こるか分かりません。だからこそ、通常時から災害を意識し、災害時の初期対応、避難の重要性を認識、それに付随した訓練を実施しておくことが必要です。防災支援センターでは、次のような内容の訓練支援を行っています。

避難訓練

実際の災害時に落ち着いて避難行動が取れるようにするには、普段から避難経路・避難所を確認しておくことが重要です。まずは自分の命を守るため、定められた避難所まで迅速かつ安全に避難することが大切です。



災害図上訓練

大雨・洪水警報の発表や降水量などの想定を基に、訓練参加者は時間経過に合わせて具体的な災害の状況をイメージしながら、その時どのような判断・行動が求められるのかを考えていきます。



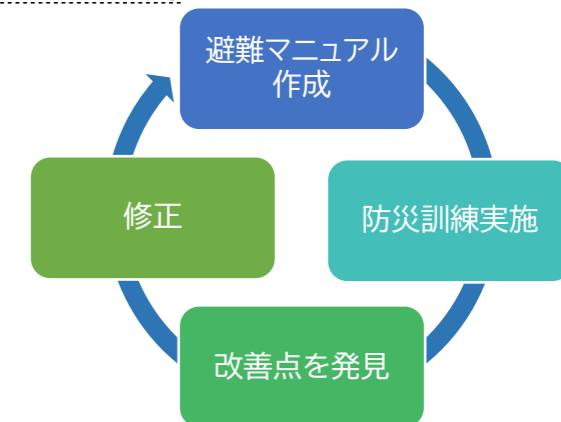
避難所設営訓練

避難所生活における留意点の説明や避難所生活を送る場合に必要となるベット、トイレを段ボールで作成する等しています。



段ボールで作成した簡易ベットは、大人一人が寝転んでも平気なほど丈夫です。

◇訓練と見直しを繰り返すことが大切◇
避難マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた訓練の実施、訓練の結果発生した不具合のフィードバックを重ねることで、更に災害に強い地域に成長していきます。



NPO 法人防災支援センターの取組

～「守る」ための「学び」～

防災支援センターでは、会員である自主防災組織等防災活動に取り組む団体の計画や要望に応じて、各種防災講演会や勉強会を実施しています。具体的な講座内容は次のとおりです。

【講座内容(例)】

- 益田市と洪水の歴史
- 土砂災害の怖さ
- 地震・津波の脅威
- 積乱雲と雲の流れ
- 自主防災組織の結成
- 防災組織が目指すもの
- 集中豪雨と防災計画
- 防災行動計画とタイムライン
- 避難マニュアル作成
- 活動マニュアル
- 基本五訓練 など

勉強会等をとおして、洪水や地震等にどのように対処していけばいいのか、実際に災害が発生した際に適切な判断が出来るよう、日頃から防災に関する知識を深めていきます。

防災勉強会の様子



要望のあった地域に出向いて、各地域にあった内容で講演会・勉強会を実施しています。



皆さんも防災まちづくりに参加しませんか？

防災支援センターでは、正会員・賛助会員様を募集しています。

【年会費】

☆正会員様
防災活動に取り組む団体、個人
団体：1,000円
個人：500円

☆賛助会員様

活動の趣旨に賛同し、活動を支援していただける法人・個人の方
法人：一口 10,000円
個人：一口 5,000円

【会員様への情報伝達方法】

勉強会の案内や防災活動支援金のお知らせ等、防災支援センターから会員様に向けての情報は、携帯メールで送付します。詳細は、防災支援センターのHPで確認してもらいます。

会員数(R3.7.8時点)

正会員(個人)	23名
正会員(団体)	50組織
賛助会員(個人)	4名
賛助会員(法人)	19法人

【問合せ先】

団体名：NPO 法人防災支援センター
住所：益田市東町12-6
TEL:090-4890-5070
E-mail:katuragi@bousaishien.net
HP:https://www.bousaishien.net/